

# The Dramatic Vessel

The Beauty of the Vessel,  
Perfected by the World's Ceramic Artists

世界の陶芸家たちが極めた”うつわ“の美



## うつわ ドラマチック展



2019  
10.5(土) - 12.22(日)

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日/月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

入館料/・一般 800円(古窯博物館常設展を含む)

・高校生以下・70歳以上 300円

・未就学児無料

主催/福井県陶芸館

後援/越前町、福井新聞社、FBC福井放送、福井テレビ、FM福井、

月刊ウララ、丹南ケーブルテレビ、たんなんFM79.1MHz

企画協力/滋賀県立陶芸の森



福井県陶芸館

FUKUI PREFECTURAL MUSEUM OF CERAMICS

〒916-0273 福井県丹生郡越前町小曾原120-61  
Tel.0778-32-2174

# The Beauty of the Vessel, Perfected by the World's Ceramic Artists

## 世界の陶芸家たちが極めた“うつわ”の美

やきものの“うつわ”は、世界各地でつくられ暮らしの中で用いられています。“うつわ”とは、まさにやきもののシンボルであるといえるでしょう。また、現代の陶芸において“うつわ”は、用途を離れやきものの美を表現するテーマのひとつになっています。

イギリスでは用と美の融合を探求したバーナード・リーチら先駆けとし、ルーシー・リーに続く作家たちは、使う器から、魅せる“うつわ”へとその美の領域を広げていきました。戦後の国々がたどったそれぞれの道筋、そして作り手たちの個性。これが“うつわ”の中に、さまざまな国々の特徴とともに映し出されています。

本展では、世界の陶芸家たちが“うつわ”の中にドラマチックに映し出す、美の競演をご覧ください。

Ceramic vessels are created and used in daily life all over the world. The vessel is truly a symbol of ceramics. In contemporary ceramic art, the vessel has also moved beyond a purely functional role to become an expressive theme for ceramic beauty.

In England Bernard Leach pioneered the pursuit of a fusion of function and beauty. Lucie Rie and others followed, broadening the role of the vessel from the realm of simple function to one of fascination and beauty. In the postwar era, each country took its own path; along with the individuality of the artists, the character of each culture is reflected in the vessels created.

In this exhibition, we hope you will be able to experience the dramatic beauty expressed in vessels created by the world's ceramic artists.



フィリップ・バルド「Human+Bowl+Face」

### 関連行事

企画者によるギャラリートーク 11月16日(土) 14:00～

越前古窯博物館 天心堂

三浦弘子(滋賀県立陶芸の森 専門学芸員)

### 〈シーン1 うつわから広がる美/イギリス〉

#### Scene 1 From Vessels to Beauty / England

バーナード・リーチ、ルーシー・リー、キャロル・マックニコル、グレイソン・ペリー、ドロシー・フェイブルマン、メアリー・ロジャース、ジェニファー・リー、アリソン・ブリトン、エリザベス・フリッチュ、ユーエン・ヘンダーソン、アンガス・サティ、ケン・イーストマン、マーティン・スミス、リチャード・スリー、サラ・スキャンプトン、ゴードン・ボルドウィン

### 〈シーン2 企ての美/アメリカ〉

#### Scene 2 The Beauty of Plans / United States

ピーター・ヴォーコス、ケネス・プライス、エイドリアン・サククス、ルドルフ・スタツフェル、マリリン・レヴィン、ロン・ネイグル、ベティ・ウッドマン、ラルフ・パセラ、アダム・シルヴァーマン

### 〈シーン3 日常×アート ティーポット/アメリカ、カナダ、イギリス〉

#### Scene 3 Utility × Art - Teapots / United States, Canada, England

フィリップ・コーネリアス、アキオ・タカモリ、ハリス・デラー、ジェリー・ベルタ、ジョン・デ・ファジオ、リディア・ブジオ、クリス・ガスティン、ステイブ・モンゴメリー、シンディー・コロジエスキー、カート・ワイザー(アメリカ)、ポール・マチュー(カナダ)、アンソニー・ベネット(イギリス)

### 〈シーン4 静物画家モランディへのオマージュ/オーストラリア〉

#### Scene 4 Homage to Still Life Artist Morandi / Australia

グリン・ハンセン・ピゴット

### 〈シーン5 北欧・陶芸とデザイン/デンマーク、フィンランド〉

#### Scene 5 Scandinavia - Ceramics and Design / Denmark, Finland

ベンテ・ハンセン、ボディル・マンツ、インゴ・ロッケア、モーテン・ロブナー・エスパーセン(デンマーク)、カティ・トゥオミネン=ニエットゥラ、ビルガー・カイピアイン、ヘイニ・リータフタ、ベッカ・パイッカリ(フィンランド)

### 〈シーン6 土の美/スペイン〉

#### Scene 6 The Beauty of Clay / Spain

クラウディ・カサノバス

### 〈シーン7 “うつわ”イマジネーション/ドイツ、スイス、オランダ、チェコ、エストニア、オーストリア〉

#### Scene 7 Vessel Imagination /

#### Holland, Germany, Czech Republic, Austria, Switzerland, Estonia

アストリット・ゲルハルツ、ヨッヘン・プラント(ドイツ)、フィリップ・バルド(スイス)、バプス・ハーネン、バーバラ・ナニング(オランダ)、ウラディミール・グロフ+西田泰代(チェコ)、イングリッド・アリック(エストニア)、ローズマリー・ベネディクト(オーストリア)

### 〈シーン8 アイデンティティを映し出す“うつわ”/台湾、ガーナ〉

#### Scene 8 Vessels Projecting Identity / Taiwan, Ghana

張清淵(台湾)、ジェームス・クワメ・アモア(ガーナ)

### 〈シーン9 “うつわ”静寂の美、技の妙/日本〉

#### Scene 9 The Quiet Beauty of Vessels, the Magic of Technique / Japan

濱田 庄司、三代 徳田 八十吉、山田 晶、木村 芳郎、長江 重和、八木 明、新里 明士、神山 賢一

### 〈アクセス〉

#### 【バス】

- JR武生駅より福鉄バス(武生越前海岸線) かわいい崎行き 陶芸村口下車 徒歩10分 <所要時間40分>片道640円
- 神明駅前バス乗り場より(鯖浦線) かわいい崎行き 陶芸村口下車 徒歩10分 <所要時間40分>片道710円

#### 【車】

- 武生インター(京都・名古屋方面より) <所要時間30分>
- 鯖江インター(金沢方面より) <所要時間30分>



福井県陶芸館  
FUKUI PREFECTURAL MUSEUM OF CERAMICS

〒916-0273 福井県丹生郡越前町小曾原120-61  
Tel.0778-32-2174

Place: FUKUI PREFECTURAL MUSEUM OF CERAMICS  
Address: 120-61, Ozowara, Echizen-cho, Nyu-gun, Fukui, Japan